

(2) 調査方法

「金澄」と「ロータスホワイト」を地下茎伸長期から肥大期まで約1週間間隔で掘り取り、伸長節数と肥大状況を調査した(表1)。

表1 肥大確認調査日

品 種 名	植えつけ	調 査 日				
		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
金 澄	5/10	6/27	7/4	7/11	7/18	—
ロータスホワイト	5/9	—	—	7/11	7/18	7/25

3 結果および考察

各調査日の調査株数、伸長節数、肥大状況を表2に示した。

「金澄」の伸長節数は、6月27日調査では7節、7月18日調査では10節であり、1週間ごとに1節が伸長することが確認された(表2)。「金澄」は株による生育差はあるが、調査株では7月18日調査では肥大がすでに2節で確認された(写真2)。1節が1週間で生長することを考慮すると7月11日頃が肥大開始時期と推察された。

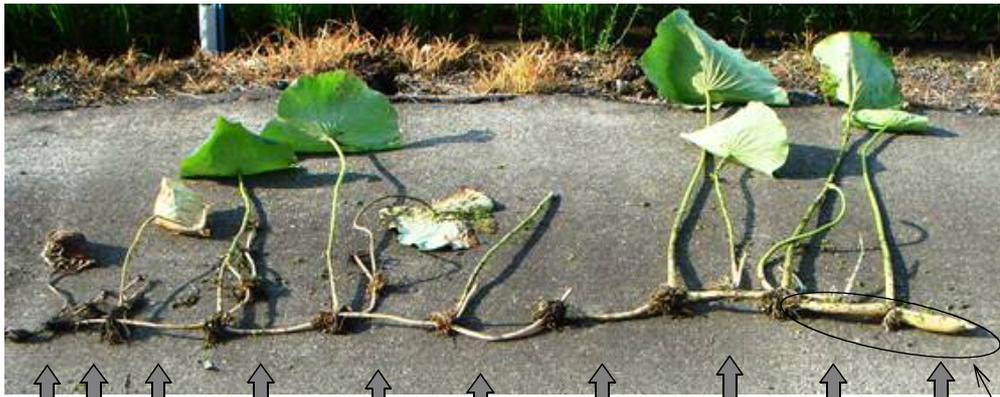
「ロータスホワイト」は、7月25日調査において、伸長節数が11節で、1節の肥大が確認された。「ロータスホワイト」は7月25日頃が肥大開始時期であると推察された(表2、写真3)。調査株が1株と少ないが、これまで栽培してきた生産者が肥大が始まると想定していた時期と合致しており、改めて確認できた。

以上より、養分吸収量が増えると推測される肥大開始時期が、「金澄」は慣行品種の「ロータスホワイト」より2週間早いことから、追肥を2週間程度早める必要があると考えられた。

表2 掘り取り調査結果

品 種 名	調査項目	調 査 日				
		6/27	7/4	7/11	7/18	7/25
金 澄	調査株数(株)	2	2	2	2	—
	伸長節数(節)	7	8	9	10	—
	肥大状況	—	—	—	肥大確認(2節)	
ロータスホワイト	調査株数(株)	—	—	2	1	1
	伸長節数(節)	—	—	9	10	11※
	肥大状況	—	—	—	—	肥大確認

※ 株元から7節までは根が絡み合い全株掘上不可能のため全地下茎の調査は未実施。



節 ⇒

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

写真2 7月18日の地下茎の肥大状況（金澄）

9、10節の地下茎は1～8節に比べて著しく太い



節 ⇒ ⑧

⑨

⑩

⑪

写真3 7月25日の地下茎の肥大状況（ロータスホワイト）

11節の地下茎は1～10節に比べて太い

4 まとめ

「金澄」は、定植から肥大開始まで9節が伸長しその期間は63日であった。「ロータスホワイト」は、肥大開始まで11節が伸長し77日であった。このことから、両品種とも1週間ごとに1節伸長していたことがわかった。

養分吸収量が増えると推測される肥大開始時期については、「金澄」は7月11日ごろ、「ロータスホワイト」は7月25日ごろと推察され、「金澄」は慣行品種の「ロータスホワイト」より2週間早いことが確認された。

